



「AEROBO 測量 2.0×初★ドローン測量現場」

初めての現場も、フルサポートで安心実施 — 株式会社 興和設計工務事務所 —



代表取締役 浦 恒博様にお話を伺いました。

興和設計工務事務所について：

当社は、墨田区千歳に所在し、橋梁架設測量・既設橋梁調査の現場において、50年以上の実績とノウハウを持ち、『きちんと、測る』をモットーに東京湾アクアブリッジやレインボーブリッジ、横浜ベイブリッジといった様々な橋での測量の実績があります。

(詳細はこちら：<http://www.kouwasekkei.com/>)

ドローンに興味をもち、エアロセンスに出会う：

最新の技術は常に調査していきまして、ドローン技術も勃興の時から業務に取り入れられないか検討してました。そんな中で、とある現場で空撮業務の依頼があり、パートナーとして二人三脚のできるメーカーがないか探していた時、ちょうど郵送でエアロセンスから「一緒に始めてみませんか？」といった内容の手紙がきて、これは良さそうだなと思いました。

現場で使用し、『これは、いける!』：

まず、私が研修を受けました。AEROBO 測量 2.0 という、ドローンやマーカ、解析クラウドがすべてセットになって、身一つ行けばすぐにドローン測量が実施でき、点群処理や必要に応じて区画までつくれるのがわかり、「これはやれそうだな」と実感が持てました。その後、橋の架け替え工事の現場で、研修通りに一連の流れを実施したところ、「本当にできる」と確信に変わりました。

AEROBO 製品について：

最終的なオルソ画像や点群データ等の成果物が非常にわかりやすかったです。当社のソフトと AEROBO クラウドのデータを上手に連携させ、より業務に活かしていきたいと思えます。新しい機体も次の現場で試したいです。また、現時点で、Trend-Point との連携はできていますが、他ソフトとも連携が増えてほしいですね。

エアロセンスから興和設計工務事務所へ：

御社のモットーである、『きちんと、測る』に一助できる製品開発にこれからも邁進いたします。

これからもどうぞよろしくお願ひいたします。



飛行の様子と代表取締役 浦様